

平成28年9月7日

「福島現代美術ビエンナーレ2016 ～氣～ 重陽の芸術祭」

開催のお知らせ

福島現代美術ビエンナーレは、福島大学の学生諸氏が実行委員会の中心となってビエンナーレ（隔年）で開催されてきました。今年「重陽の芸術祭」として、二本松を舞台に平成28年9月9日（金）から開催します。安達ヶ原の鬼婆「黒塚」伝説や智恵子の生家、日本一の菊人形祭といった開催地である二本松城（霞ヶ城）などに関わる文化資料と関連させ、「長寿」をテーマにワークショップやシンポジウムを実施します。福島県をアートの側面から復興支援と地域文化の活性化を目的として様々な事業を行いますので、ぜひ取材方よろしく願いいたします。

◇ 福島ビエンナーレ2016出展作家

◇ 展示の種類：平面、立体、インスタレーション、アニメーション、ビデオアートなど

◇ 展示予定点数：16箇所の展示会場で、81名が共演

浅尾芳宣（福島ガイナックス）、大山忠作、河口龍夫、木下史青、小松美羽、高村智恵子、月岡芳年、手塚治虫、松井冬子、松本零士、ヤノベケンジ+増田セバスチャン

詩：高村光太郎、和合亮一、ダンス：大野慶人、館形比呂一、平山素子

「ドイツから戻ってきたTEGAMI 5年目展」プロジェクト：主宰 綿引展子

U.S.A/ オノ・ヨーコ, Dillon Rapp, Hayden Senter, Jennifer Tancreto, 長澤伸穂

Canada/武谷大介、Germany/Zero Reiko Ishihara, Bea Emsbach, Max Weinberg

Holland/鈴木樹里、England/Richard Bond

France/ Cecile Brice、Switzerland/Cornelia Hesse-Honegger

Mexico/保住将文, Susana Castellanos, Juan Sebastian Becerra Mancilla, Visente Mesinas, Carmen

Flores、Bangladesh/Md. Tarikat Islam

Egypt /Ahmad Galal ほかに

※なお、長澤伸穂（ニューヨーク）によるワークショップ（9月11日）、講演会「銀河鉄道・永遠の生命」（11月3日）、講演会「手塚治虫による漫画とアニメ『安達ヶ原』をひもとく」（11月6日）は「わくわくJr.カレッジ」と共催です。

（お問い合わせ先）

渡邊晃一 WATANABE, Koichi

福島大学 文学・芸術学系 教授

福島大学 芸術による地域創造研究所 所長

大学連絡先：960-1296 福島市金谷川1番地

国立大学法人 福島大学 人間発達文化学類 絵画研究室

Tel : 024-548-8226(直通) 内線：3448

E-mail : koichiw@educ.fukushima-u.ac.jp

「福島ビエンナーレ」は、ビエンナーレ(隔年)で開催されてきた藝術の企画活動です。福島大学が中心となって、2004年から地域住民との協働により開催されてきました。福島を拠点にした若手アーティストを支援し、幅広い世代の人々が興味、関心を抱く最先端のアート(絵画、彫刻、工芸、インスタレーション、ダンスや詩のパフォーマンス、ビデオアート、アニメーション、映画など)を紹介する中で、幅広い芸術活動に触れる機会や、国際交流する場を設け、地域文化を活性化させる一役を担っています。

2016年、あらたに再始動する今年は、二本松を中心に「重陽の芸術祭」として開催します。テーマは「氣 indication」。「重陽」の意味を内包しています。

重陽は、日本酒に菊を浮かべて不老長寿を願う「長寿の節句」です。二本松城(霞ヶ城)は全国一の規模をほこる菊人形祭が開催されており、菊は古来より葉草としても用いられ、延寿の力があるとされてきました。

FUKUSHIMA BIENNALE 2016
福島 × **現代美術**
重陽の芸術祭

FUKUSHIMA BIENNALE 2016
福島 × **現代美術**
ビエンナーレ



■主な出展作家・Artists (順不同・敬称略)

荒井経、石川浩子、伊藤公象、岩根愛、上田風子、大山忠作、大槻透、岡部昌生、岡村桂三郎、河口龍夫、久保井博彦、後庵野かおり、小松美羽、近藤丹子、今実佐子、齋藤岩男、サガキケイタ、佐藤陽香、柴崎恭秀、柴田美千里、鈴木美樹、高村光太郎、高村智恵子、月岡芳年、鳥山玲、中村衣里、橋本徳彦、松井冬子、増田セバスチャン、宗像利訓、宗像利浩、山崎千尋、ヤノベケンジ、吉田重信、渡邊晃一、
 「ドイツから戻ってきた TEGAMI 5年目展」綿引展子 ほか

U.S.A / オノ・ヨーコ、長澤伸穂 Canada / 武谷大介 Germany / Zero Reiko, Bea Emsbach, Max Weinberg
 Holland / 鈴木樹里 England / Richard Bond France / Cecile Brice Switzerland / Cornelia Hesse-Honegger
 Mexico / 保住将文, Susana Castellanos, Juan Sebastian Becerra Mancilla, Visente Mesinas, Carmen Flores
 Bangladesh / Md.Tarikat islam Egypt / Ahmad Galal

アニメーション: 手塚治虫、松本零士、浅尾芳宣(ガイナックス)、伊藤有希、片山拓人、河野亜季、細川晋 詩: 高村光太郎、和合亮一
 書: 千葉清藍 ダンス: 大野慶人、館形比呂一、平山素子 音楽: 伊藤睦、岩田渉、大槻玲香、落合敏行、佐藤一成、永幡幸司、野島健太郎
 映画: 高明、古田晃司、嶺隼樹 照明デザイン: 木下史青(東京国立博物館デザイン室長)

福島大学学生 / 北村はるか、瀬川晶、森山太一
 井戸川文美、梅津拓斗、尾形千尋、加藤朱美、熊田あかり、齋藤日和、齋藤友希、佐川朋子、佐久間このみ、高橋花帆、根本亜梨沙、渡邊賀菜子

10/8 Sat ▶ 11/6 Sun **ビエンナーレ展** 二本松エリアを中心とした各会場にて作品展示

10/10 Sat ▶ 11/23 Wed **二本松の菊人形** 二本松市観光協会との共催

9/9 Fri **重陽の乾杯** 9:00~ 二本松城(霞ヶ城)本丸

9/9 Fri **KUROZUKA「闇の光」** 18:30~ 安達ヶ原ふるさと村 農村生活館
 [ダンスパフォーマンス] 館形比呂一、落合敏行、谷川遼、ほか

10/5 Wed **レモン忌** 小松美羽、和合亮一 18:00~ 智恵子の生家

10/8 Sat ▶ 10/10 Wed **シンポジウム 市民科学者国際会議** 福島県男女共生センター

10/9 Sun **上映会** 福島県男女共生センター
手塚治虫アニメーション作品「安達が原」
 [短編アニメ作品上映] **「Blue Eyes in HARBORTALE」** 伊藤有希
 「約束」河野亜季・「愚図の底」片山拓人・「鬼」細川晋

10/23 Sun **上映会** 福島県男女共生センター
手塚治虫アニメーション作品「安達が原」
 [短編アニメ作品上映] **「Blue Eyes in HARBORTALE」** 伊藤有希
 「約束」河野亜季・「愚図の底」片山拓人・「鬼」細川晋
 [映画上映] **「生きてこそ」** 安孫子亘(映画監督)
 [昔話] **「安達ヶ原の鬼婆」** 山田登志美(語り部)
 トークセッション(山田登志美×横山幸子)

音楽会
 佐藤一成(バリトン)・伊藤睦(クラリネット)・大槻玲香(チェロ)・野島健太郎(ピアノ)

11/3 Fri **講演会** 14:00~ 二本松市民交流センター
「銀河鉄道・永遠の生命」 講師: 松本零士

11/6 Sun **上映会** 二本松市民交流センター
手塚治虫アニメーション作品「安達が原」
 [短編アニメ作品上映] **「Blue Eyes in HARBORTALE」** 伊藤有希
 「約束」河野亜季・「愚図の底」片山拓人・「鬼」細川晋
講演会 14:00~
「手塚治虫による漫画とアニメ「安達ヶ原」をひもとく」
 講師: 松谷孝征(手塚プロダクション代表取締役社長)



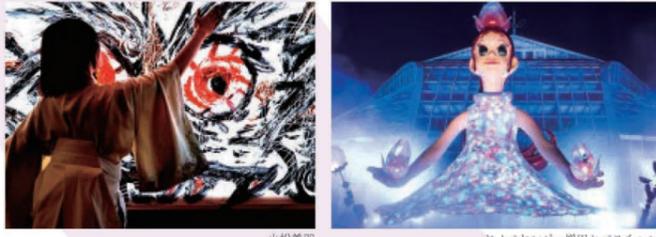
近藤丹子

松井冬子



久保井博彦

上田風子



小松美羽

ヤノベケンジ×増田セバスチャン

ワークショップ

長澤伸穂(ニューヨーク) 上川崎の和紙による紙絵の制作	9月11日(日) / 10:00~15:00 福島大学 総合研究センター 造形教室
Cornelia Hesse-Honegger(スイス) 菊の花のイラストレーション	10月4日(火) 福島大学 総合研究センター 造形教室
千葉清藍(書家) 二本松の小学校で子どもたちを対象に開催	
小松美羽(美術家) 上川崎の和紙による灯籠、墨絵の制作	
郡山豊田幼稚園 「氣」をテーマに制作	11月4日(金)~11月5日(土) 郡山豊田幼稚園

10月29日(土) 桶屋台壁画完成除幕披露(福島桶屋台伝承会との共催)
 11月2日(水)~6日(日) 福島文化祭・マジカル福島(福島ガイナックスとの共催)

同時期に開催される二本松の祭
 ●二本松の提灯祭り [10月4~6日] ●針道のあはれ山車 [10月9日] ●小浜紋付祭 [10月9~11日]

10/8 Sat ▶ 11/6 Sun

- 二本松市大山忠作美術館
- 二本松市民ギャラリー
- 二本松市歴史資料館
- 福島県男女共生センター
- 二本松城
- 二本松工芸館
- 大七酒造
- 国田屋醸造千の花
- 智恵子の生家
- 観世寺
- 安達が原ふるさと村
- 道の駅「安達」智恵子の里

重陽の芸術祭

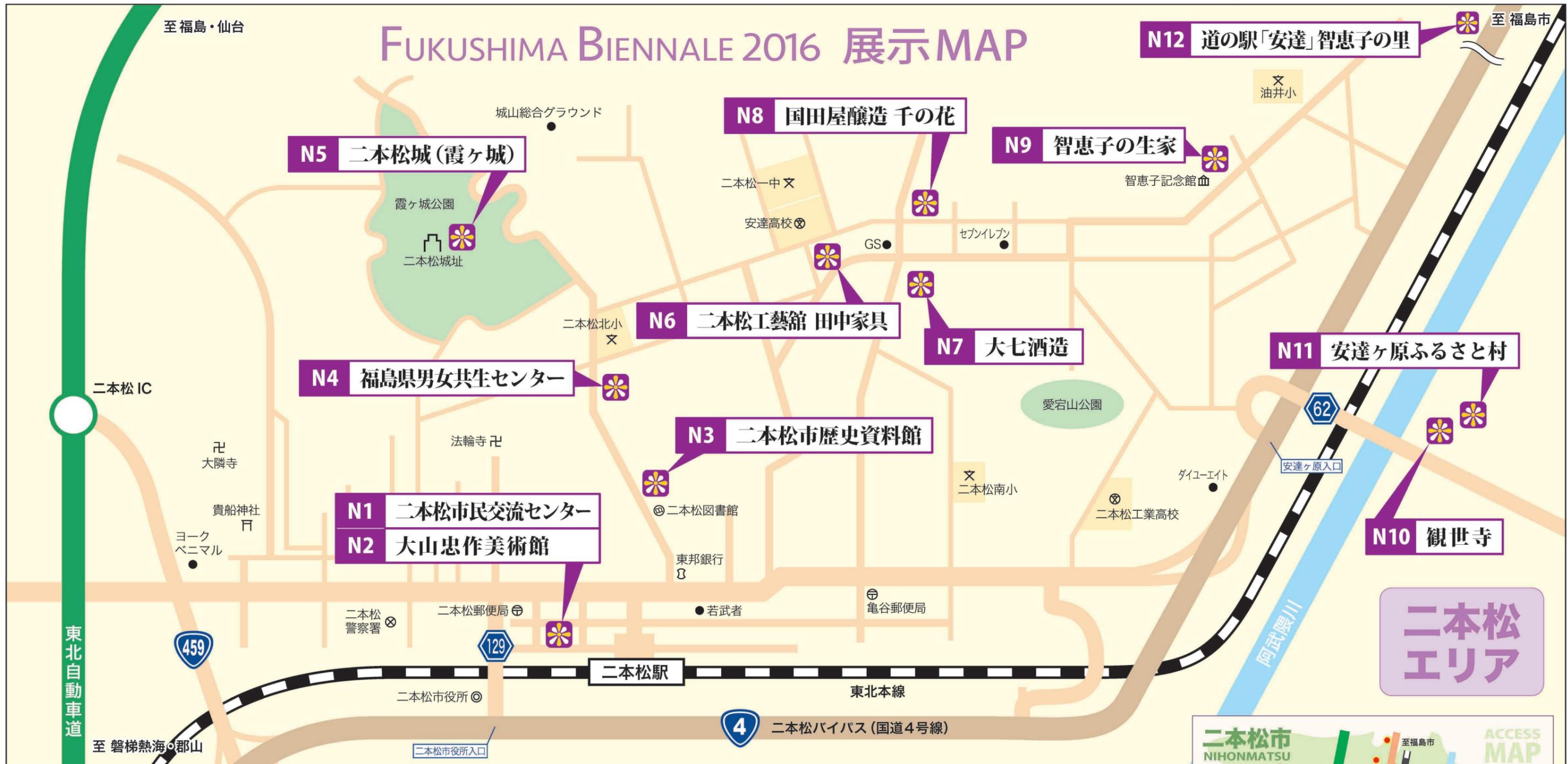


企画・主催 / 福福島現代美術ビエンナーレ実行委員会、国立大学法人福島大学 芸術による地域創造研究所、重陽の芸術祭実行委員会
 共 催 / 二本松市、二本松市教育委員会、株式会社二本松市振興公社、市民科学者国際会議、福島ガイナックス、パセオミューズ実行委員会、
 はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト 安達ヶ原の鬼婆伝説「黒塚」
 助 成 / 福島大学学術振興基金、芸術文化振興基金、公益財団法人 花王 芸術・科学財団、アサヒグループ芸術財団、
 平成28年度福島県地域創生総合事業、美術研究所△デルタ

後 援 / 福島県、福島県教育委員会、福島市、福島市教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、
 ラジオ福島、ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMボコ、株式会社ぶらっと Web 放送
 協 力 / 福島大学地域創造支援センター、福島大学ふくしま未来学(COC)推進室、福島県立博物館、福島県立美術館、郡山市立美術館、いわき市立美術館、諸橋近代美術館、はじまりの
 美術館、CCGA(現代グラフィックアートセンター)、佐藤美術館、さくらんぼ保育園、さくらんぼ森合保育園、豊田幼稚園、天台宗真弓山 観世寺、智恵子の生家、水彩画クラブ
 朋友会、アンリの会、福島こどものみらい映画祭実行委員会、ASSOCIATI ON GANBALO、株式会社ミルインターナショナル、有限会社やまだマイク、株式会社CIA、株式会社
 Doorside、大七酒造、奥の松酒造、人気酒造、宗像窯、NECエンジニアリング、下村石膏株式会社、紀文、坂野井木工所、ミチ工芸、ヒグチ運輸、京都美術工房、谷中田美術、P3
 art and environment、養清堂画廊、成山画廊、コバヤシ画廊、ギャラリー東京ユマニテ、風土舎、絵工堂、KENJIYANOBE Archive Project、京都造形芸術大学ウルトラファク
 トリー、I.TOON、松井冬子株式会社、大野一雄舞踏研究所、館形比呂一事務所、ドイツから戻ってきた TEGAMI 5年目展

福島現代美術ビエンナーレ実行委員会 〒960-1296 福島市金谷川1 福島大学 芸術による地域創造研究所 内
 TEL・FAX: 024-548-8226(直通) E-mail: fuku2016bien@gmail.com / koichiwo9@hotmail.com

FUKUSHIMA BIENNALE 2016 展示MAP



二本松市エリア

N1 二本松市民交流センター

■アニメーション・映像作品の上映

講演会 11月3日(祝)14:00~
「銀河鉄道・永遠の生命」 講師：松本零士

講演会 11月6日(日)14:00~
「手塚治虫による漫画とアニメ『安達ヶ原』をひもとく」
講師：松谷孝征(手塚プロダクション代表取締役社長)

上映会 11月6日(日)
手塚治虫アニメーション作品『安達ヶ原』
[短編アニメ作品上映] 『Blue Eyes in HARBORTALE』 伊藤有希
「約束」河野亜季・「愚図の底」片山拓人・「鬼」細川晋

N2 大山忠作美術館

■大山忠作美術館の作品をもとに、若手作家を中心とした「菊」の作品を展示

大山忠作、近藤丹子、荒井経、岡村桂三郎、上田風子、大槻透、今実佐子、佐藤陽香、鈴木美樹、田中一村、鳥山玲、松井冬子、宗像利浩

N3 二本松市歴史資料館

高村光太郎、高村智恵子

N4 福島県男女共生センター

■世界的に活躍する女性アーティストを中心に構成
オノ・ヨーコ『福島のための空の曲』、長澤伸穂、岩根愛、鈴木樹里、岡部昌生、河口龍夫、久保井博彦、吉田重信、山崎千尋、Richard Bond、Cecile Brice、ornelia Hesse-Honegger、Susana Castellanos、Zero Reiko、
「ドイツから戻ってきた TEGAMI 5年目展」綿引展子、石内都、山本紉、ほか

シンポジウム(市民科学者国際会議) 10月8日(土)~10月10日(祝)

上映会 10月9日(日)・10月23日(日)
手塚治虫アニメーション作品『安達ヶ原』
[短編アニメ作品上映] 『Blue Eyes in HARBORTALE』 伊藤有希
「約束」河野亜季・「愚図の底」片山拓人・「鬼」細川晋

[映画上映] 10月23日(日) 『生きてこそ』 安孫子亘(映画監督)
[昔話] 10月23日(日) 『安達ヶ原の鬼婆』 山田登志美(語り部)
トークセッション(山田登志美×横山幸子)

音楽会 10月23日(日)
佐藤一成(バトン)・伊藤睦(クラリネット)・大槻玲香(チェロ)・野島健太郎(ピアノ)

N5 二本松城(霞ヶ城)

二本松の菊人形(二本松市観光協会との共催) 10月10日(祝)~11月23日(祝)
ヤノベケンジ、増田セバスチャン
本丸跡
オノ・ヨーコ

N6 二本松工芸館 田中家具

柴崎恭秀

N8 国田屋醸造 千の花

千葉清藍

N10 観世寺

■ダンスパフォーマンス
月岡芳年、大野慶人、館形比呂一、平山素子

N11 安達ヶ原ふるさと村

■アニメーションの上映、インスタレーションの展示
手塚治虫、松本零士、浅尾芳宣、サガキケイタ、武谷大介
KUROZUKA「闇の光」 9月9日(金)9・10日(土) 18:30~
[ダンスパフォーマンス] 館形比呂一、落合敏行、谷川暎、ほか

N9 智恵子の生家

智恵子記念館血

N8 国田屋醸造 千の花

千葉清藍

N6 二本松工芸館 田中家具

柴崎恭秀

N7 大七酒造

ほすみまさふみ

N11 安達ヶ原ふるさと村

アニメーションの上映、インスタレーションの展示

N10 観世寺

ダンスパフォーマンス

N12 道の駅「安達」智恵子の里

柴田美千里



- 交通のご案内**
■自動車 東京・仙台方面→東北自動車道→二本松IC
■鉄道 東京方面(東北新幹線)→郡山駅(東北本線)→二本松駅
仙台方面(東北新幹線)→福島駅(東北本線)→二本松駅
- 福島市エリア**
福島大学、福島市街地、他
- 磐梯熱海温泉エリア**
磐梯熱海温泉



本講座は将来、美術で大学に進学を希望している方はもちろん、漫画やイラストなどを学びたい方、医学や自然科学に興味がある方など、様々な視点からのご参加をお待ちしています。美術の幅広さ、奥深さを国際的な視野から、楽しく学んでいきましょう。



『大学での作品制作』 「ほんとの空」でつなげる絵（紙絵による制作）

日 時	平成28年9月11日(日) 10:00~15:00
会 場	福島大学 総合教育研究センター 造形教室
担当教員	渡邊 晃一 先生(福島大学人間発達文化学類 教授) 長澤 伸穂 先生(ニューヨーク州立大学 教授)
対 象	中学生、高校生 (先着15名)
参加費	1人あたり 1,000円(傷害保険料を含む)
応募締切	平成28年9月5日(月) 先着順に参加者を決定し、9月7日(水)を目安に申込者に大学から通知を送ります。

『外部講師による特別講座』

	第1回	第2回
講 師	松本 零士 氏(漫画家)	松谷 孝征 氏 (手塚プロダクション代表取締役社長)
テ - マ	【講演】 「永遠の命」(仮)	【講演】 「手塚治虫による『安達ヶ原』を ひもとく」(仮)
日 時	平成28年11月3日(木) 文化の日 13:00~14:00	平成28年11月6日(日) 14:00~16:00
会 場	二本松市市民交流センター	二本松市市民交流センター
対 象	小学生・中学生・高校生(先着100名)	小学生・中学生・高校生(先着100名)
参加費	無料	無料
応募締切	平成28年10月24日(月)	平成28年10月26日(木)

【申込方法】

参加を希望する生徒は、下欄「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、下記の申込先に、郵送またはFAXでお申し込みください。また、インターネットからもお申し込みいただけます。

わくわくJr.カレッジ参加申込URL <http://wakuwaku.net.fukushima-u.ac.jp>

お知らせいただく氏名等の個人情報については、本講座の実施及び講座申込・出席確認以外に使用することはありません。

【申込先・問い合わせ先】

福島大学地域連携課

〒960-1296 福島市金谷川1番地

TEL 024-548-5211 FAX 024-548-5244

「現代美術・クリニック」コース

参加申込書

平成 年 月 日

参加者氏名 <small>ふりがな</small>	年齢	歳	性別	男・女
参加者の連絡先	〒			
学校名	(TEL: - -)		(FAX: - -)	
参加希望理由 期待すること	学年		年	
参加希望日に をつけてください。	『作品制作』		『特別講座』	
	9/11	第1回(松本 零士 氏) 11/3	第2回(松谷 孝征 氏) 11/6	



平成 27 年度文化庁地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業
 はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト 2016
 「黒塚」発信プロジェクト

KUROZUKA

闇
 の
 光

今、フクシマから「黒塚」伝説を発信する！

様々な解釈されてきた異形のテーマが、安達ヶ原というこの上ない場を得て、
 新たな意匠でよみがえる。一人の男性舞踏家が、老女、若い女、鬼女の三態の変容を
 いかにか踊り分けるか、その驚くべき挑戦の舞台を目の当たりにされんことを！

日時：2016年 9月 9日（金）18:30～
 10日（土）18:30～

会場：安達ヶ原ふるさと村 農村生活館
 （福島県二本松市安達ヶ原 4-100）

開場：18:00 入場無料

定員：100名 申込不要（当日 17:00 より、ふるさと村入口にて整理券を配布いたします）

舞踊：舘形比呂一

脚本・構成：谷川渥

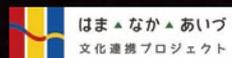
音楽：落合敏行

企画・美術：渡邊晃一

振付：加賀谷香

照明：浦佳忍

舞台監督：佐藤善美（株式会社ライト・ヴァージ）



主催：はま・なか・あいづ文化連携プロジェクト実行委員会
 協力：二本松市 二本松市振興公社 福島現代美術ビエンナーレ実行委員会

題字：千葉清藍
 ポスターデザイン：潮川晶